月　日 名前　　／100点

【小4】国語 文章問題　物語文 5

つぎの文章を読んで、後の問題に答えましょう。

夏休みの自由研究に、ぼくはミニトマトを育てることにした。毎日水をやり、大きさをはかって、ノートに書くつもりだった。

ところが、八月のはじめ、家族で三日間旅行に出かけているあいだに、はちの土がからからにかわいてしまった。家に帰ると、ミニトマトの葉は、くたりと下を向いていた。

「もう、だめだ。」

ぼくはノートをとじた。これでは、自由研究にならない。

その夜、お父さんがノートを開いて、じっと見ていた。

「よく書けてるじゃないか。」

「でも、かれちゃったんだよ。」

お父さんは、最後のページを指さした。

「かれたことも、書けばいいんだよ。水をやらないと、何日でこうなるのか。それが分かったのは、大事な結果だ。」

ぼくは、はっとした。うまくいったことしか、書いてはいけないと思っていたのだ。

次の日から、ぼくはまた水をやりはじめた。かれた葉は元にもどらなかったけれど、下のほうから、小さな新しい葉が出てきた。ぼくはそれも、ノートに書いた。

夏休みの終わり、ノートのさいごには、こう書いた。「しっぱいしたから、分かったことがあった。」

教室でノートを見せると、先生はそのページに、赤い花丸をつけてくれた。

（この問題のための書き下ろし）

問一　旅行から帰ったとき、ミニトマトの葉はどうなっていましたか。本文から十五字までで書きぬきましょう。

問二　「ぼくはノートをとじた」とありますが、このときのぼくの気持ちとして、いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　ミニトマトがかれて、自由研究にならないとあきらめる気持ち。

イ　自由研究が早く終わって、ほっとする気持ち。

ウ　お父さんにノートを見せたくて、わくわくする気持ち。

問三　「ぼくは、はっとした」とありますが、ぼくはどんなことに気づいたのですか。四十字までで書きましょう。

問四　ぼくは、ノートのさいごに何と書きましたか。本文から二十字までで書きぬきましょう。